

平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 光彩工芸

コード番号 7878 URL <http://www.kosaikogei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部 部長 (氏名) 吉田 貴

TEL 0551-28-4181

四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	626	1.9	1	△86.1	5	△58.7	3	△72.9
25年1月期第1四半期	615	—	13	—	13	—	12	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 6百万円 (△57.9%) 25年1月期第1四半期 14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	0.91	—
25年1月期第1四半期	3.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第1四半期	2,015	1,421	70.5	379.34
25年1月期	1,919	1,424	74.2	380.14

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 1,421百万円 25年1月期 1,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	1.5	10	11.1	10	11.1	6	△14.2	1.60
通期	2,500	7.8	40	—	40	—	32	300.0	8.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	3,960,000 株	25年1月期	3,960,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	213,091 株	25年1月期	212,391 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	3,747,409 株	25年1月期1Q	3,747,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の政権交代に伴う新たな経済政策への期待感から円安・株高が進み、日本企業の雇用環境や個人消費にもやや明るい兆しが見られるようになりました。

宝飾業界におきましても、一部高額品については景況回復の兆しが見られましたが、市場全体への効果は限定的なものに留まり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済情勢のもと、当社はジュエリーパーツ事業において定番商品の安定した受注獲得などにより堅調に推移し、営業利益、四半期純利益ともに黒字を確保することができました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高が626百万円（前年同四半期比1.9%増）、経常利益5百万円（前年同四半期比58.7%減）、四半期純利益は3百万円（前年同四半期比72.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計期間年度末と比べ96百万円増の2,015百万円となりました。主な変動は、現金及び預金の増加76百万円等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計期間年度末と比べ99百万円増の594百万円となりました。主な変動は短期借入金の増加90百万円等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計期間年度末と比べ3百万円減の1,421百万円となり、自己資本比率は70.5%となりました。主な変動は、利益剰余金の減少5百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月19日発表「平成25年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表した連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判定に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期累計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	441,204	517,856
受取手形及び売掛金	354,596	364,390
たな卸資産	650,293	658,790
その他	5,074	8,417
貸倒引当金	△348	△364
流動資産合計	1,450,820	1,549,091
固定資産		
有形固定資産	345,914	340,016
無形固定資産	3,483	3,646
投資その他の資産	107,682	111,953
固定資産合計	457,080	455,616
繰延資産	11,752	11,237
資産合計	1,919,652	2,015,945
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,613	26,165
短期借入金	230,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	30,024	30,024
未払法人税等	6,970	2,972
引当金	—	5,727
その他	62,393	88,157
流動負債合計	368,001	473,046
固定負債		
長期借入金	70,742	63,236
退職給付引当金	29,380	30,370
役員退職慰労引当金	21,475	21,900
その他	5,426	6,056
固定負債合計	127,023	121,562
負債合計	495,024	594,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	338,310	332,349
自己株式	△29,987	△30,102
株主資本合計	1,419,763	1,413,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,335	3,659
為替換算調整勘定	2,529	3,989
その他の包括利益累計額合計	4,865	7,648
純資産合計	1,424,628	1,421,336
負債純資産合計	1,919,652	2,015,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
売上高	615,126	626,986
売上原価	514,151	535,570
売上総利益	100,974	91,416
販売費及び一般管理費	87,064	89,487
営業利益	13,909	1,929
営業外収益		
為替差益	—	3,814
その他	548	574
営業外収益合計	548	4,389
営業外費用		
支払利息	859	791
その他	217	1
営業外費用合計	1,077	793
経常利益	13,381	5,525
税金等調整前四半期純利益	13,381	5,525
法人税等	810	2,117
少数株主損益調整前四半期純利益	12,570	3,408
四半期純利益	12,570	3,408

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,570	3,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	634	1,324
為替換算調整勘定	1,497	1,459
その他の包括利益合計	2,131	2,783
四半期包括利益	14,702	6,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,702	6,192
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントの決定方法

当社の事業セグメントは、当社の事業単位のうち分離した財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にリング・ペンダント等のジュエリーアクセサリ工程を取り扱うジュエリー事業部と、イヤリングパーツ・クラスプ等の半製品工程を取り扱うジュエリーパーツ事業部の2つの事業セグメントから構成されております。

しかし、当社の事業セグメントはいずれも貴金属製品として、その経済的特長、製品の製造及び販売方法、対象とする市場及び顧客等は概ね類似するため、これらを集約し「ジュエリー事業」を単一の報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ジュエリー事業」において、ジュエリーアクセサリやイヤリングパーツ等の半製品を製造・販売しております。

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。